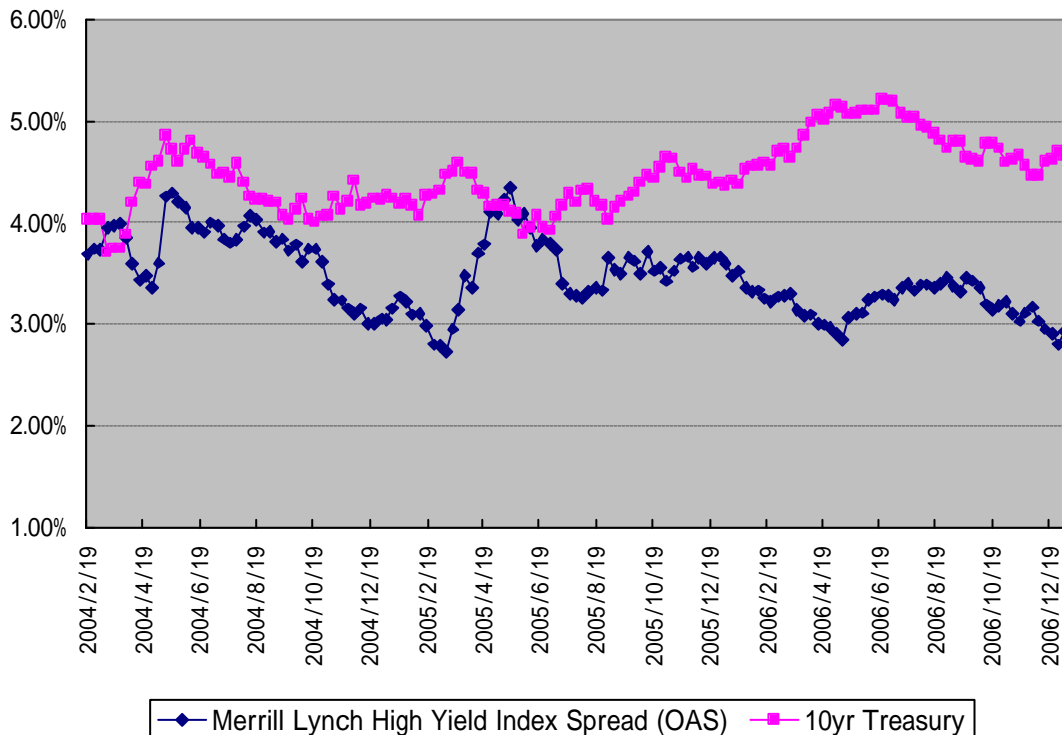


米国社債市場

市場コメント(4月7日~4月13日の週)

「住宅市場は巨大なタンカーのようなものだ」という表現がよく使われる。グリーンズパン元議長もそうした見解を持つ人物の一人だが、その意味するところは、スーパータンカーはブレーキをかけてから40KMほど走り続けるということ、住宅市場もこれに良く似ているというのだ。つまり、昨今の様々な破綻や差し押さえは今起き始めたばかりで、現状それほどアメリカ経済にダメージを与えているように見えないが、その影響は今年の年末、来年初頭あたりに顕著に出てくるということである。先週の米国破産法協会の会合でのグリーンズパンのスピーチは、正にこのことを言っている。グリーンズパンは、既に100万戸以上の家が差し押さえられているが、その影響は現状では予測不可能だ」と言った。実際、差し押さえた状態で持ちこたえているうちは影響は軽微だが、資金繰りなどに支障をきたしこれが一斉に売りに出されるような悪化状況を彼は心配していると考えればよい。実際我々もこれが最大の心配事なのだ。

ハイ・イールド債券スプレッドと米国10年債利回り



本資料は、証券投資の参考となる情報の提供を目的としており、証券の売買勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料は信頼できるとされる情報に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。